



第54回若鳩祭を終えて

校長 富川 麗子

第54回若鳩祭が、9月16日(金)、17日(土)に行われました。早いもので、一か月が経とうとしています。今年度のスローガンは、「笑顔無限大」でした。このスローガンの下、クラス、部活動、委員会など29団体が参加しました。新型コロナウイルス感染症対応のため、生徒・教職員のみでの開催となりましたが、それでも無事に開催できたことを素直に喜びたいと思います。視野を世界に広げれば、思うようにならない厳しい現実が至る所にあります。限られた条件の中で、何ができるか、どれだけ誠実に、真剣に、そして楽しんで向きあえるか等、工夫が必要であったと思います。

暑かった夏休み期間中から、時間をかけて計画し、準備する間には、様々な課題やトラブルがあったかもしれません。真剣に取り組んだ人ほど、悩む場面や困難に向き合うことになったことと思います。しかし、文化祭を通して、自分たちで考え、決め、一つのことを創り上げていくプロセスを学ぶよい機会となったことを嬉しく思います。このような一つひとつの経験が皆さんを成長させることになるのです。

準備が間に合うのか心配になる団体もある中で、開会式後には、十分に成果を発揮している皆さんの姿をたのしく感じました。

9月21日(火)には閉会式を実施しました。ドラムロールの演奏に合わせて、文化委員長から、各部門賞が発表されていきましたが、各団体の喜んでる姿、悔しがっている姿を見て、「やりきったんだなあ」と感じました。「嬉しい」、「悔しい」と思えるには、どれだけ準備してきたか、そこまでのプロセスが必要です。そのような思いを全員が共有し、若鳩祭がますます発展することを期待しています。(各部門賞等の詳細は、「若鳩だより第3号」に掲載されています。)

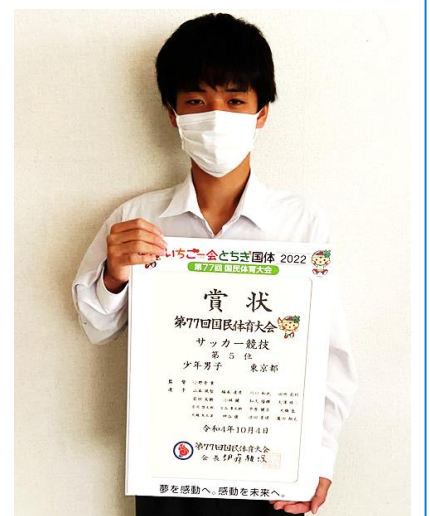


【活躍する村高生】～国体代表選手～

10月1日から行われた「第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)」に、本校1年生の薦田 翔太さんが、サッカー競技少年男子に東京都代表の選手として出場しました。全国で第5位という素晴らしい結果でした。

薦田さんは、3試合にフル出場し、得点も決めるなどの大活躍でした。薦田さんは、週に5～6日、クラブチームの練習に励むとともに、基礎トレーニングを毎日実施しているとのこと。さらに、「栄養サポートプログラム」で、スポーツ栄養なども学び、日々実践しているとのこと。成果の裏には、たゆまぬ努力があるのです。

村高生の活躍する姿は、本校として本当に嬉しいことです。益々の活躍を期待しています。



☆『校長室だより』は本校 HP にも掲載しています。是非、HP でカラー版を御覧ください。
☆HPでは「東村山折々」・「月々の東村山」で学校の様子を紹介しています。併せて御覧ください。